



中学生が 野球を 通じて交流



本市では、国際化の進む社会のさまざまな分野で活躍できる子どもの育成、交流人口の拡大による地域の活性化を目的に、台湾との交流事業を推進しています。

今回、市内の中学生12人が10月8日(土)から11日(火)までの日程で、東京都杉並区などで開催された「交流自治体中学生親善野球大会」に参加し、言葉も文化も歴史も異なる国の台湾や交流自治体の杉並区、災害時相互援助協定を

結んでいる福島県南相馬市、静岡県南伊豆町、群馬県東吾妻町の中学生と親善試合や交流会などを通じて、お互いに交流を深めました。

市内2校で結成された合同チーム「チーム名寄」は、9月14日(水)の結団式以降、事前学習会や合同練習を行い、親善野球大会への準備を進め、大会では参加チームと3試合行ったほか、交流会で名寄市のPRやよさこい(南中ソーラン)を披露しました。

日程

- 10月8日
 - ・名寄出発
 - ・杉並到着
 - ・野球殿堂博物館見学
 - ・交流夕食会
- 10月9日
 - ・開会式
 - ・元プロ野球選手の野球教室
 - ・試合①(台湾・長安國民中學)
 - ・試合②(杉並^{ワースト}チーム)
- 10月10日
 - ・試合③(東吾妻中学校)
 - ・閉会式
 - ・東京スカイツリー見学
- 10月11日
 - ・東京出発
 - ・名寄到着



長安國中チームとの記念撮影



野球教室



試合以外でも交流を深めました



野球殿堂博物館での一枚



野球大会のようす



西武プリンスドームで開会式



交流夕食会で南中ソーランを披露